

5.12 気象（風害を含む）

5.12.1 現況調査

(1) 調査内容

事業計画地周辺の風環境の現況を把握するため、地域の一般的な状況及び大阪の風について既存資料調査を実施した。調査内容は表 5-12-1 に示すとおりである。

表 5-12-1 調査内容

調査対象項目	調査対象範囲・地点	調査対象期間	調査方法
事業計画地周辺の風環境	事業計画地周辺	平成 17～26 年	既存資料調査 大阪管区気象台測定結果

(2) 調査結果

地域の一般的状況

事業計画地周辺の建築物の分布状況は、図 5-12-1 に示すとおりである。事業計画地周辺には、商業施設及び業務施設など、中高層建築物が多数分布している。なお、事業計画地周辺の標高は海拔 0 m 程度であり、ほぼ平坦な地形を成している。

上空風の風速・風向の状況

事業計画地周辺の上空の風向・風速の状況を把握するために、事業計画地の南東約 2.9km に位置する大阪管区気象台（風向・風速の測定高さ：地上 33m^{*1}）で観測された、平成 17 年 1 月から平成 26 年 12 月までの過去 10 年間^{*2}の日最大平均風速のデータの整理・分析を行った。大阪管区気象台の位置は図 5-12-2 に示すとおりである。

また、大阪管区気象台における平成 17 年から平成 26 年までの日最大平均風速の季節別及び年間の風向出現頻度は、図 5-12-3 に示すとおりであり、年間を通じて北東と南西から西の風向発生頻度が高く、風速 8 m/s 以上の強風の発生頻度は、西南西、西の西寄りの風向が卓越している。

なお、季節の区分は、春季：3 月～5 月、夏季：6 月～8 月、秋季：9 月～11 月、冬季：12 月～2 月とした。

*1：風向・風速計の設置高さは、地上 22.9m であるが、大阪城内の内濠内部に位置する風向・風速計の設置場所の地盤面は周辺市街地より 10m 程度高くなっているため、観測高さを 33m とした。

*2：大阪管区気象台の風向・風速計は平成 27 年 2 月に移設され、移設後の観測期間は短いため、移設前の 10 年間に得られたデータを用いた。

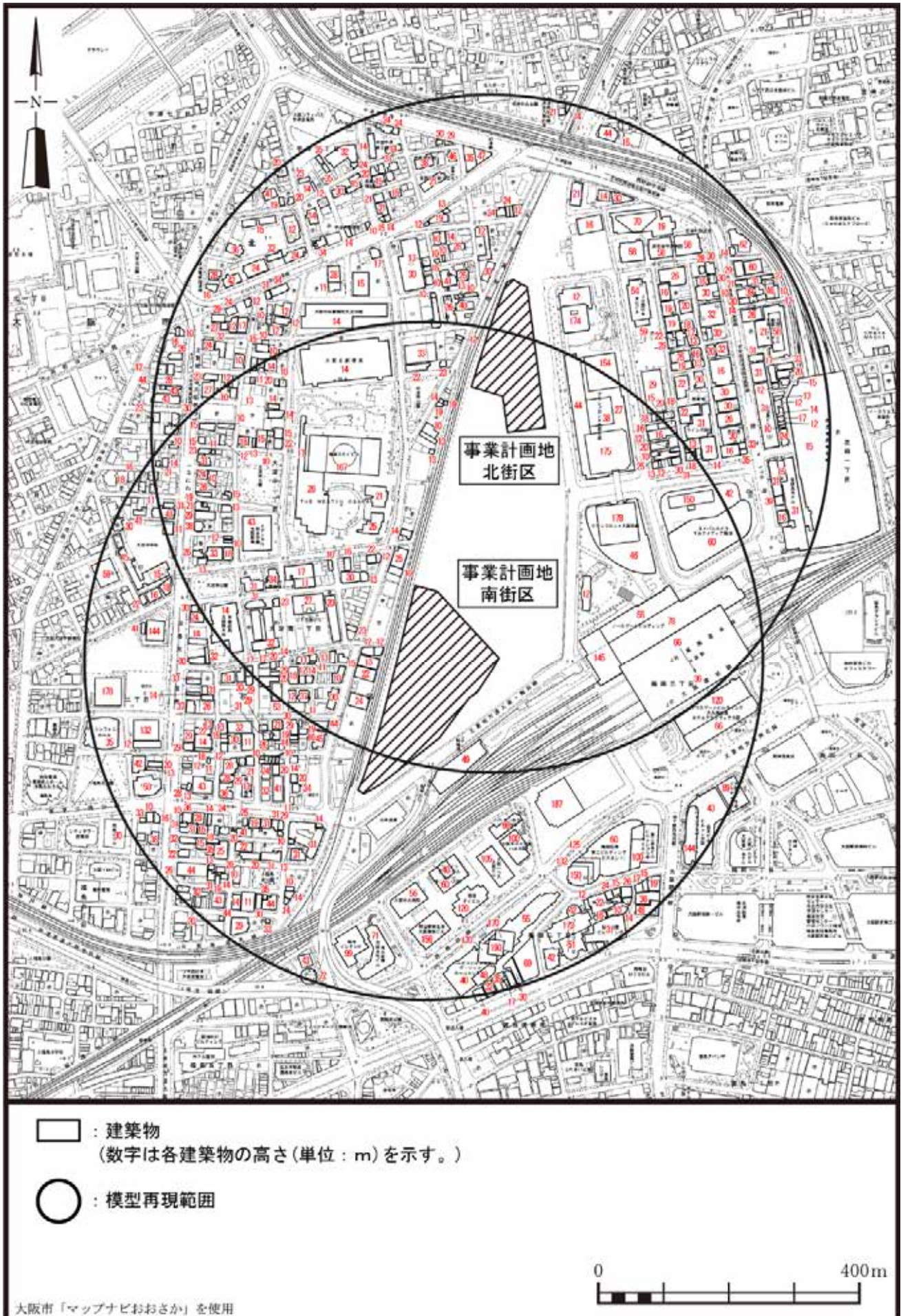
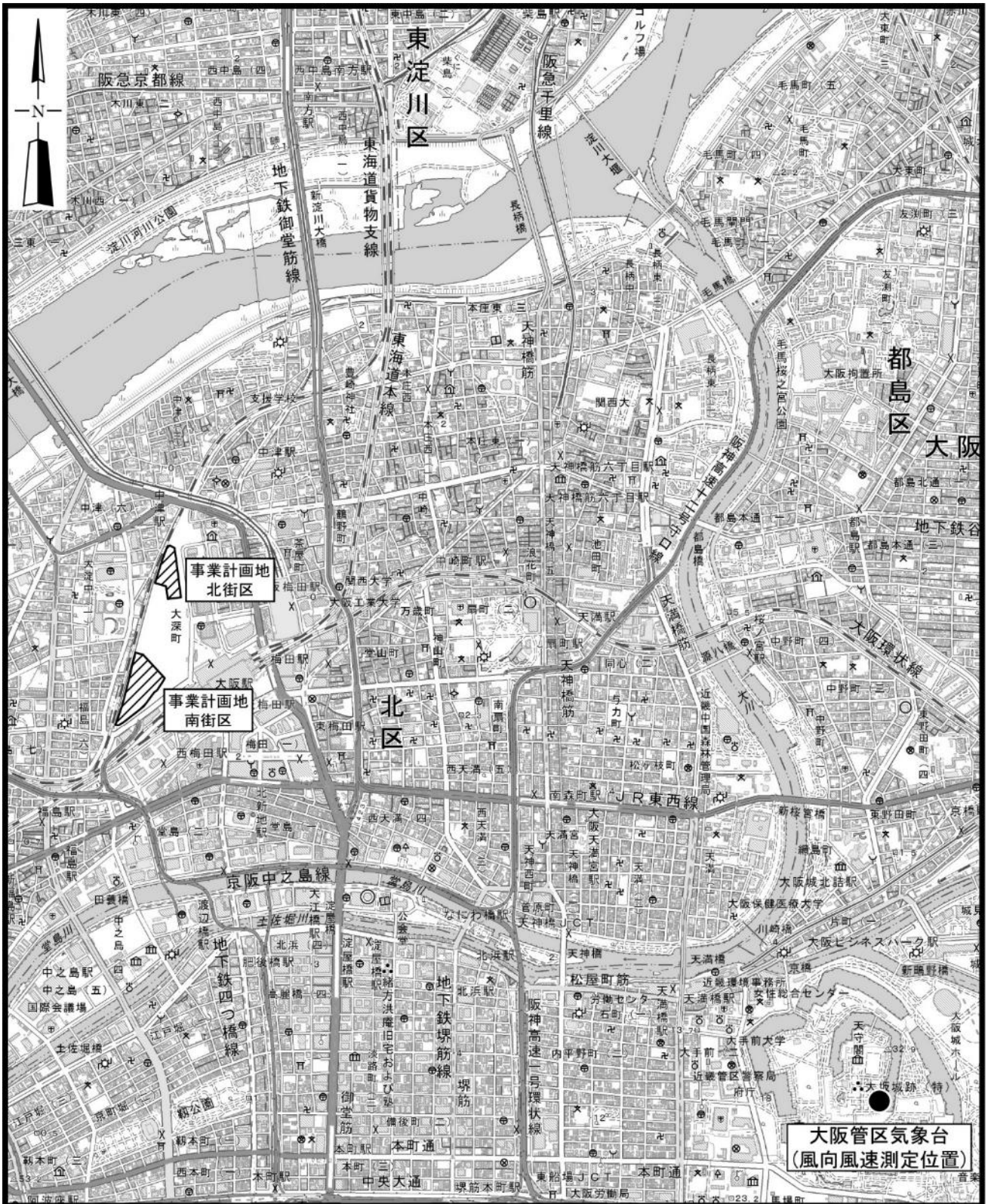


図 5-12-1 事業計画地周辺における建築物の高さ状況



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（大阪西北部、大阪東北部）を使用したものである。

図 5-12-2 大阪管区気象台の位置